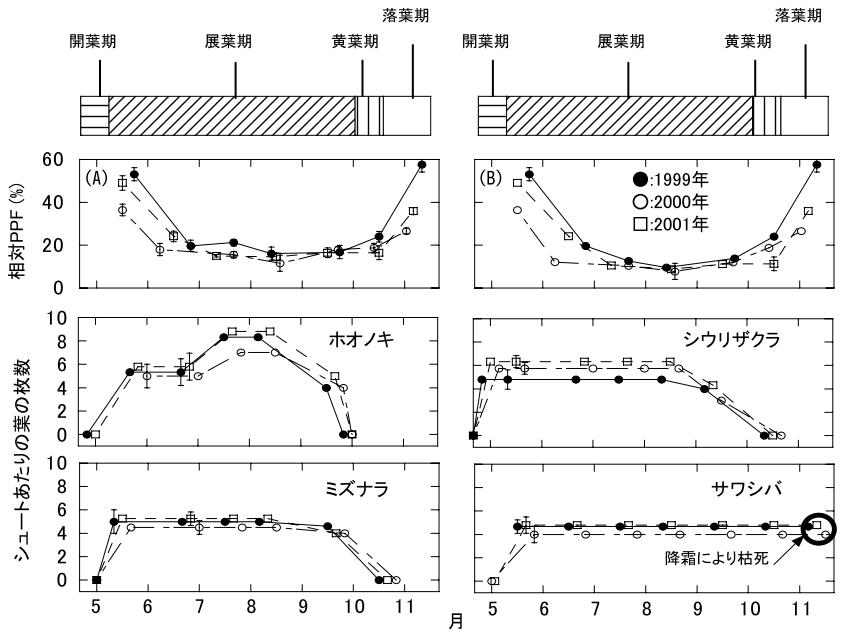

図 2.3.2　上層木の葉の生物季節と林床の光環境ならびに対象樹種の葉の着葉数の季節変化（N＝5）

(A) 閉鎖された林冠下，(B) 林冠ギャップ下.

上層木の葉の生物季節は平均値をフェノダイアグラムで表示した．この値は，気象要因に関連して林床の光環境の年次変化に反映されるが大きく年次変化した．更新稚樹のシュートあたりの着葉数には，大きな年次変化はなかった（Kitaoka & Koike, 2005）．サワシバの開葉は最も遅いが，落葉せず降霜によって枯死するが，翌春まで葉を付けている（マレッセントと呼ぶ，Koike（2004））.